



よいことのために
手を取りあおう

秋田南ロータリークラブ

国際ロータリー第2540地区 創立1980年3月8日

第2029回例会① 2025年 8月 28日

2025-2026年度 会長:塚田 貢才 幹事:須田 華奈

プログラム

- 閉門・開始
- 開会 点鐘
- 黙想(15秒)
- ロータリーソング斉唱・握手
- お客様のご紹介
- 四つのテスト 心の唱和
- 乾杯・お食事
- 会長の時間
- ロータリーニュース
- 会務報告
- ガバナー補佐の時間
中区ガバナー補佐 木元 慎一 様
- ゲストスピーチ
地区行動計画推進委員長
嶋田 康子 様
- 閉会・点鐘
- 開門

出席報告

会員数	41名
出席数	20名
出席率	48.78%

ロータリーニュース (円)

	8月7日 投函額
ニコニコBOX	5,500
MRGチャリティ	なし
今年度合計額	26,500



◎ニコニコニュース

塚田 貢才: 木元ガバナー補佐、嶋田行動計画推進委員長の訪問にニコニコします。
相場 進: 今日の川柳【選挙行く 待って お化粧30分】
桐谷 岳志: ①夏休みの期間、24時間 小2・年中の子どもと一生懸命遊びました。
普段見えなかった家族の支援に感謝します。
②相場先生から教わった『一口30回噛む』を実践したところ、112キロから
108キロへダイエット成功!!
※木元ガバナー補佐よりたくさんの方のニコニコ献金をいただきました。

ガバナー補佐の時間

- ・桑山明久ガバナーについて紹介
- ・今年度の7つの地区目標について
- ・9/11公式訪問について



ゲストスピーチ

地区計画推進委員会 委員長 嶋田康子様

嶋田委員長: 本日は地区行動計画推進委員長としてまいりました。「行動計画推進」これについて、まああまりどのクラブもよくわかっていない、そういう私自身もじゃあこうだよとはっきり分かっているわけでもないんですが、その辺についてお話ししたいと思います。この秋田南ロータリークラブでは直前会長の刀根さんが今日は残念ながらいらっしゃらないようですが、今年度のクラブ推進リーダーということです。そのクラブ推進リーダーの役目は、会員の皆様でディスカッションをする時間を作っていただきたいということになっております。そこで問題なのは、どうやってディスカッションしたらいいのかということ。どこのどこのクラブでも、秋田北クラブでもなかなかうまくいってないのが実情です。そのディスカッションの目的とはクラブの皆様全員で本音で話し合いたいということです。クラブ内の風通しを良くして会員ができるだけ例会に出席し、そして懇親を深め、皆でこの秋田南ロータリークラブの方向性を決めていただきたいと思うんです。こうだって決まったものではなく、堅苦しいロータリーではないですね。その点は昔から随分変わってきているのが実情です。ロータリーに入って楽しいか、ボランティア活動などができるかと、そういうことが大事だと思うんです。

自分自身で1人で何かボランティア活動をやろうとしてもなかなかそれは難しい。こういう会で皆さんと一緒にやればとってもいいなということがありますよね。そして、様々な職業の方がここにもいらっしゃるわけです。そういう中で、いろいろなお話をすることで、自分自身の成長にもつながるという話が出てきていると思います。それで本日はちょっとだけやってみたいと思うんです。特に新会員が、なぜこの南ロータリークラブに入ったのか、入った結果どうだったか、思っていたのと違うとか、良い方向なのか、いやいやそうではない、というような話を本音で出していきたいと思うんです。

本日は3人の新会員がご出席ということ、事務局の方に伺ったので、是非入会の感想を伺いたいと思います。少しくらい文句言ってもですね、多分ですよ、ここにいらっしゃる秋田南ロータリーの皆様は許していただけるんじゃないかなと。なんだ？ってことは言わないでいただきたいと思うんです。というご了解のもと、ぜひ新会員のいろんな話をしていきたいと思います。よろしいでしょうか？では、最初に後藤宏樹さんいらっしゃいますか？どうぞこの南ロータリーに入ってなと思ったかなとか、入ってよかったのかな？とか率直に、皆さんなにを言っても怒らないという約束がついておりますので、ぜひお願いします。

後藤会員: はい。私は去年の7月に移動して参って、秋田に住むのも初めてでしたので、非常にあのこう言ってはなんですけど、こじんまりとしたロータリークラブで本当に皆さんフレンドリーに快く迎えていただいて、この奉仕活動、ロータリーとはなんぞやというものも含めて、あの私も初めてでしたので、そういったレクチャーもしていただきつつもあるんですけど、それ以上に秋田に馴染めるように本当に皆さんあたたかく迎えていただいて、それは本当に楽しいというか嬉しいというかありがたいという気持ちでおりますので、不満を述べよとありましたが、私はあの何の不満もなく本当にありがたく1年間楽しく過ごさせていただいておりますので、感謝です。ロータリーそのものについてはちょっとまだ不勉強が多いので勉強は必要かなという風に思っています。

嶋田委員長: はい、ありがとうございます。それでは次に桐谷さんお願いします。

桐谷会員: はい。私は田村さんにご紹介いただいて門を叩くことに、門を叩くってのは入門するみたいなんですけど(笑)入らせていただいたんですけども、私も転勤でこの秋田に来てという中で、仕事上で出会う方はやはり仕事が前提となってしまうところを、地域のことを考えて、人のこと、他の誰かのことを考えて社会貢献していくということについては非常に興味がありました。それ以外にやはり人間関係、人と人との付き合いをしながらご縁があって来たこの秋田に貢献できるっていうのは自分としても嬉しいなと思っていましたし、実際に入ってみて先輩方の話であったりとか、例会でスピーチなども聞く中で、先ほどの咀嚼の話もそうですがいろんなヒントをもらって実践してみても自分のためにもなったり、それをまたみんなに広げていったりすることがのびのびできるっていう、いろいろな刺激をいただく機会をもらっていると思います。

嶋田委員長: なるほど。はい、田村さん、無理やり入れっていったわけではないですよ(笑)では最後に佐藤さんいらっしゃいますか？はい、お願いします。



よいことの
ために
手を取りあおう

秋田南ロータリークラブ

国際ロータリー第2540地区 創立1980年3月8日

第2029回例会② 2025年 8月 28日

2025-2026年度 会長:塚田 貢才 幹事:須田 華奈

ゲストスピーチ

地区計画推進委員会 委員長 嶋田康子様

佐藤成立会員: すいません、三人目なのでなにか文句の一つも言わなきゃいけないのかな? という流れにはなってると思うんですが(笑)私も 50 才で秋田 YEG 商工会議所青年部の方も卒業したので、若干体を持て余していた部分と、南ロータリーは高校の先輩だったり、元からの知り合いも何人かいらっしゃったので、そのまますんなり入会させていただいたというきっかけなんですけど、このような弱輩ものに・弱輩でもないですけど、年齢50 は過ぎてるんですが皆さんによくしていただいて、あの特段本当にちょっと面白くないんですけど、文句はないかな? といったところです。

嶋田委員長: ありがとうございます。そうですね。私がロータリーに入って 1番最初に何を感じたかっていうと・歌を歌ったんですね、変な宗教団体に入ってしまったんじゃないかと、ちょっと逃げようかなと思ったような状態でした。そんなところから始まったわけですけども、皆さん大人ですね。あんまり不満出なかったですね。それではですね。逆にこのロータリーに長くいらっしゃる会員の方どうですか? 相場先生一言、今の若いもんはでもいいし、うんと違うなっていうん。

相場会員: そうですね。まああの頃・もう 40 年も前になりますが、非常に堅苦しかったですね。最初に司会やれって言われた時にはやっぱりしどろもどろですね。偉い人ばかりいるなと思ってびっくりしましたけど。やっぱりうまくカバーしてもらったのはカバーしてもらいましたね。私も酒は好きだったので先輩と一緒にずいぶん川反に連れていただきまして、勉強させてもらいました。やはり奉仕ということが主になるけれど、“やってやろう”という意欲はそういうところから生まれてくるんじゃないでしょうか。自分一人でやろうというのはなかなか難しく、仲間と一緒にやろうというのはやはり仲良くなってからそういう気持ちが生まれてきたような気がしますね。まあ40年も前のことを語れば尽きないのでこの辺にしておきたいと思います。

嶋田委員長: ありがとうございます。では田村さんはいかがですか? 彼(桐谷さん)を無理やり入れませんでしたか? (笑)

田村会員: いや無理やりは入れてません。たまたま彼が会社の方に挨拶に来て。普通は知らずに行っても会えないんですよ、ここにいる社長さんたちもね。でもローターに入れば例会でも、夜飲んだり、ゴルフでも「会える」っていうこと。じゃあ入ればいいんじゃないかと勧めたのが最初でした。こちらの支社長は東RCに入ってますから 2人はどうかな? と言われましたが、秋田でいろいろな人を覚えた方がいいんじゃないかということで、進んで入ってもらいました。だから強制ではありません(笑)。私も最初は人を覚えたいということで、仕事が解体ですので多少騒音とかそういう風なものが出るということで、やはり人を覚えてれば例えば隣の土地で解体した時、うるさいと思ったら「なんだ田村の所か、もうちょっと静かにやってくれ」なんて笑って言ってもらえるようなね。いろんな人を覚えてやってきたのがやっぱり良かったのかなと。中でもこの南ロータリーに入会できたのが良かった。とてもフレンドリーな雰囲気の中で先輩方もとても良い人ばかりで、それでこのように続けてこられたのだと思っています。

嶋田委員長: ありがとうございます。こんなふうに皆様から是非いろんな本音を聞かせていただきたいと思います。自分の経験を申し上げますとロータリーのある会でとても不満があったんですね。私は我慢できないたちなので大騒ぎしたんです。冗談じゃない、すぐ辞めるとね。そしたら皆さんだめてくださったんですけど、その時いろんな方がいろんな本音を言うてくださったんですね。まあそういうことで、すっかりロータリーにはまったっていうことがあります。大人の社会においては仕事上の遠慮、事をできるだけ荒立てない方が良いという日和見主義によって、ほとんど本音で話すことができないのではないのでしょうか。それが大人の対応というものと私はよく息子に怒られるんですね。何でも本音で話せばいいというわけでもないし、大体私は営業苦手なんです。お客様のところへ行くは無理にこやかしてるのですが、そのお客様が嫌いだったら、そのうちに顔に嫌なやつだになっていうのが出まして、心の中では一生懸命にこやかにやっているつもりだけど、つい本音を出してしまうところがありました。でも、社会ではほとんど本音を言わない、特に男性の商売の関係では自分を隠すというか、本音であんまり付き合うことはあまりないんじゃないでしょうか。そういうことができればもっと良いのかなと思うところがございます。何でも不満をぶつけられたいものではないんですけど、クラブの内ではぶっちゃけこんな事を話そうというような時間があれば、クラブ例会に来るのも楽しいなっていう形になるのではないのでしょうか。『クラブは全ての会員が自分の居場所だと感じることができたんだと魅力的な存在になる』数年前のステファニー・ジョーンズ RI 会長がおっしゃっていたことなんですが、それは何よりもクラブでの体験が重要なことだと思います。ということで、このディスカッションというのは一種のガス抜きかもしれませんが、この秋田南ロータリークラブを今後成長させていくためには良いことだと思いますか? 自分たちの集まりが楽しく有意義なものに変わっていけば、退会する人もなくなっていき、また、新しい人を自信を持って仲間を迎え入れたいと思うことに繋がってほしいと思います。このあと2 回目、3 回目といろんなディスカッションをしていくことになると思いますが、この秋田南ロータリーは現在どのような奉仕活動をしているのか、今後こういうことやりたいとか、一部の会員だけでなくもっと多くの会員が関わった方が良く、ディスカッションをする議題はどんどん出てくると思います。1年間で何回ディスカッションの時間が取れるか分かりませんが、どの人も絶対 1 回は自分の言葉で自分の考えを述べてほしいと思いますし、できるだけ多くの会員の意見を言う機会を作っていただきたいと思います。なお、1人 1 回あたりの時間はそれぞれ 3 分くらいにいただきたいと思うんですね。そして話をする時間がなければ意見を書いたアンケートを集めるとか、その辺はクラブ推進リーダーにお任せしたいと思います。

『楽しいクラブ運営』 桑山ガバナーも楽しくなればクラブじゃないと言っています。ぜひ楽しくて、有意義なことができるようなクラブ運営をしてください。

塚田会長: 40数人のクラブですが実際の出席者は半分の20名程度です。なかなか出席しない会員が退会しないよう、そして例会出席してもらうよう、先ほどの話にあったように先輩会員、新会員、中堅会員と本音で話をする機会を設けたいと思います。

嶋田委員長: 私も最初の頃はつい例会日を忘れてしまって、遅れちゃったから今日はやめようとなっていたのですが、まだ入会1年目ぐらいのときに出席委員長に任命されて、これは出ないといけないとなりました。先日は北RCで「BBQ例会」を開催して、なかなかお昼に来られない会員が参加できて良かったということもありました。いろいろな工夫でクラブを盛り上げて、またディスカッションの方もぜひ取り入れてやっていただきたいと思います。

